

- 1 種別 建造物
- 2 名称 岩堂セギ分水口
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山牛奥上ノ段1520地先他
- 4 所有者 甲州市
- 5 建築年代 昭和2年(1927)
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

農業用水及び生活用水を分割するための鉄筋コンクリート造円筒分水。三重の円筒からなり、サイフォンの原理で中心の小円筒から湧き上がった水が外側の中円筒に溜まり、中円筒隔壁に12箇所設けられた穴で3等分され大円筒を通じて3本の水路に注ぐ仕組み。



全景



小円筒から湧き上がる水

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 中村屋旅館
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山上於曾1225
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 大正6年(1917)頃/昭和10年(1935)頃改修、
昭和30年(1955)頃増築
- 6 登録基準 「(一)国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

塩山温泉に位置する。木造2階建、寄棟造、棧瓦葺。南正面中央に入母屋造の玄関が付き、2階正側面の小庇は吹寄せ垂木の瀟洒な意匠を見せる。玄関の天井は棹縁を扇形に配る特徴的なもので、2階の座敷は窓を多くとって開放的な造りとする。近代和風旅館の好例。



全景



玄関天井

- 1 種別 建造物
- 2 名称 土屋家住宅主屋
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期／昭和35年（1960）・同45年（1970）
・平成15年（2003）改修
- 6 登録基準 「（二）造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

塩山から秩父に抜ける街道筋に位置する。主屋は、現当主の曾祖父が建てたと伝え、養蚕のため、2階屋根上に突き上げ屋根の3階部分と、越屋根の4階部分を重ねる外観が特徴。中央に玄関を開き、左前面側には10畳間を三室並べる。その北には中廊下を配す。



主屋



奥座敷の床の間、床脇と付書院

- 1 種別 建造物
- 2 名称 土屋家住宅文庫蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期／昭和60年（1985）改修
- 6 登録基準 「（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

主屋の北西側に渡廊下を介して建つ。土蔵造2階建、棧瓦葺で、桁行10メートル、梁間4.5メートル、小屋は登梁を用いる。当初は書物、布団、食器類等を取っていたが、後に北半の2階床を撤去し、ワイン醸造関係の物品を保管している。敷地景観を構成する。



文庫蔵（右）と米蔵（左）



文庫蔵2階

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 土屋家住宅米蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期／昭和60年（1985）改修
- 6 登録基準 「（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

主屋の裏手に建つ、切妻造2階建、棧瓦葺で桁行7.6メートル、梁間3.6メートルの規模で、当初は小作米を収めていたが、昭和30年代からは1階をブランデー製造に利用している。北面上部に窓を開いてアクセントとし、地域の歴史的景観に寄与する土蔵。



米蔵2階

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 土屋家住宅麹蔵
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期／昭和60年（1985）改修
- 6 登録基準 「（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

主屋の南東、敷地東辺の中ほどに建つ。桁行7.1メートル、梁間3.0メートル、切妻造平屋建、棧瓦葺の小規模土蔵で、西面中央に扉口を開き、北面と東面に窓を設ける。麹製造のために建てられた蔵で、地域の大規模農家の営みを今日に伝えている。



麹蔵（北西からみる）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 土屋家住宅裏門
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場字屋敷添3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

敷地の北面やや東寄りに位置する一間腕木門。間口は2.3メートルで、両開板戸を設け、屋根は棧瓦葺とする。全体に簡素な造りになるが、敷地北辺を画し、近代以降の大規模農家の有り様を示し、地域の歴史的景観を今に伝えている。



裏門（北からみる）



裏門（南西からみる）

- 1 種 別 建造物
- 2 名 称 土屋家住宅座敷門及び塀
- 3 所在地 山梨県甲州市塩山三日市場字屋敷添3313-1
- 4 所有者 個人
- 5 建築年代 明治前期
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

主屋南面の内庭を画す塀と門。門は間口1.7メートルの棟門、塀は折れ曲り総延長34メートルの屋根塀で、ともに棧瓦葺。塀は腰上下で色合いを変える土壁で、上部を樺皮で軽やかに見せる。主屋と併せ、質の高い近代民家の景観を形づくっている。



座敷門及び塀



主屋と座敷門及び塀